

『楽器を制作し、音をより身近に感じる』

発表会でタンバリン・鈴・ウッドブロック・トライアングルの楽器を用いて合奏を行っていった子どもたち。ピアノ以外にも様々な音色がある事に気づき、音への興味関心が増している様子でした。

自由工作の時間が好きな子どもたちなので、自分たちで好きな楽器を作り、音をより身近に感じられるよう活動を行っていきました。

楽器を作ってみよう！

紙コップギター、お菓子の空き容器で太鼓、牛乳パックでギロ作りをしました。

好きな楽器を選び、カラーポリ袋やカラー段ボール、型抜き等で飾り付けを行い、オリジナル楽器作りを楽しみました。



どんな素材を使って制作を行おうか考えながら、友だちと「ここ風船になるよ」「どんな音がするかな？」等、期待を持って素材選びを行っていました。



選んだ素材を使って、飾り付けを行いました。「ここは、こうしたい！」「色々な色の紙を貼りたい」等、楽しんで作っていました。また、友だちの作品から刺激を受け「それどこにあったの？」と、作品に反映していました。



音を鳴らせてみよう！



ギターでは、輪ゴムの場所によって音が違う事に気付いていました。

ギロでは、擦るスピードや強さで、音の速さや大きさが変わる事に気付いていました。

太鼓では、風船から太鼓の音がする事に驚いていた子どもたちでした。

合奏してみよう

「一緒に合わせてみよう」と友だちを誘い合い、一緒に音を奏でる事を楽しんでた子どもたち。

「それやってみたい！」「交換しよう」と自分の楽器と友だちの楽器を交換して楽しむ姿も見られていました。



「みんなで合わせようよ」「カエルの歌でやろう！」と歌を口ずさみながら合奏を楽しみ、最後はピアノに合わせて合奏を行いました。

その様子を撮影し鑑賞会を行うと、「今ギターの音がした」「音がよく聞こえる」と演奏を嬉しそうに観ていました。

今回の楽器作りでは、身近にある風船や輪ゴム、空き容器から色々な音色が生まれた事で、より音への興味関心が高められていました。自分の楽器ができた事で、友だちの音はどんな音がするのだろう、やってみたいという探求心にも繋がっていました。動画を撮影し、客観的に演奏を観る事ができた事も、子どもたちにとってよい経験になったと感じました。

今後も子どもたちの探求心を大切にしていきながら、様々な活動を行っていきたいと思います。